

# パトラン

# パトラン 通信

2019/4/1-2020/3/31

2019年度活動報告書



パトラン

認定NPO法人改革プロジェクト  
パトランJAPAN事務局  
〒811-4146  
福岡県宗像市赤間3-5-1-204

E-Mail / [information@patorun.com](mailto:information@patorun.com)  
WEB / <http://patorun.com/>

発行  
2020年6月15日

# 2019年度の実績と成果

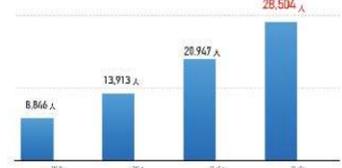
## パトロール実績

全国各地で1年間でのべ **28,504** 人がパトロールを行いました。  
 パトランにより街を見守った時間は **11,452** 時間となります。

活動人数(2019.4.1~2020.3.31)

**28,504** 人

全国での活動人数は年々増加しています。2019年は前年と比較して、7,557人増加し過去最多の人数となりました。



活動時間(2019.10.1~2020.3.31)

**11,452** 時間

パトっちの導入によりパトロール時間を可視化することができました。時間による防犯活動の成果を目に見える形にしていきたいと考えています。



## 街の異変の報告

全国各地で **219** 件の現場対応と **1632** 件の街の異変を報告しました。  
 そのうち、**428** 件が改善されました。



救命/人助け	不審人物・車両	交通事故	その他	合計
<b>42</b> 人	<b>26</b> 件	<b>7</b> 件	<b>144</b> 件	<b>219</b>
街灯切れ	道路の危険箇所	放置自転車	不法投棄	落書き
<b>263</b> (改善)	<b>60</b> (改善)	<b>55</b> (改善)	<b>48</b> (改善)	<b>2</b> (改善)
<b>1,150</b> (報告)	<b>208</b> (報告)	<b>138</b> (報告)	<b>119</b> (報告)	<b>17</b> (報告)
				<b>合計428</b>
				<b>合計1632</b>

パトラン中に発見した事案は行政や警察へ通報連絡することで、安心して暮らせる地域づくりを進めています。



神谷代表の紹介で存在を知り、2015年7月に数名で始めたパトランの活動、パトランとのお付き合いも、はや5年になりました。また、「西尾チーム」も設立3年半となりました。その間、チームの仲間もたくさん増え、現在は70名を超える登録を頂いています。地域でもパトラン活動が認知され、嬉しさと責任を感じるこの頃です。今後も「防犯・健康・仲間づくり」といったパトランのコンセプトを大切に、チームの皆さんがパトランを楽しめる環境づくり、パトランを通じた元気な街づくりをテーマに取り組んでいきます。レッツパトラン!

萩原 竜治さん/西尾チーム

# PATORUN TEAM

## パトランの展開

新たに **5** つのパトランチームがスタートしました。

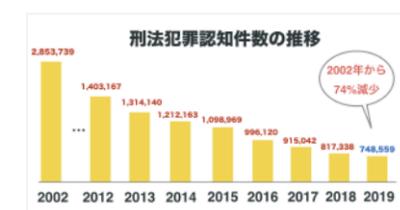
- 東京チーム(東京)
- びわこチーム(滋賀)
- 糸島チーム(福岡)
- 佐賀チーム(佐賀)
- 久留米チーム(福岡)



## 刑法犯認知件数の推移

### 全国での犯罪件数の減少

日本全体での刑法犯の認知件数は、**748,559** 件です。  
 2018年度と比較して **68,779** 件、減少しています。



主な街頭犯罪の認知件数(2019)

性犯罪 <b>6,305</b> 件	ひったくり <b>1,553</b> 件	放火 <b>840</b> 件	窃盗 <b>532,565</b> 件
-----------------------	-------------------------	--------------------	------------------------

### パトラン活動エリアによる犯罪件数の減少

パトランチームが活動する地域における刑法犯の認知件数は  
 2018年度と比較して **18,822** 件減少しました。

主な地域別の減少件数	東京都	兵庫県	京都府	福岡
	<b>-9829</b> 件	<b>-3838</b> 件	<b>-1685</b> 件	<b>-1282</b> 件

(福岡市、北九州市、宗像市、糸島市、福津市、久留米市)



2019年は、個人として走行距離844.6km 報告事案は街灯切れ86本、カーブミラー倒れ1本で、その他では酩酊状態で歩道に倒れた人を保護していた方のサポートなどでした。活動地域は神戸市北区と三田市で、防犯メールに入る事案発生場所を意識しながら走っていますが、新たに設置されたりLEDに改善された街灯や誰も住まなくなった空家、宅地造成されてなくなっていく緑の木々など街中のちょっとした変化に敏感になりました。2020年も残り半分、日々活動できる事に感謝です。

家門寿徳さん/兵庫県

# PATORUN TEAM

2019年度は新たに5つのチームが誕生しました。これまでチームとして活動してきた栃木チームは新たに栃木グループとして稼働することになり全国でのチーム数は15チームとなりました。

## 全国のチームメンバー総数

1,266人

## 全国のチーム活動総数

891回



## 北九州チーム

代表 仲村 龍治

チーム活動回数 **150**回  
メンバー数 **665**人

### 2018年度の取り組み

8月から八幡中央地区がスタートしすべての区でパトランが実施しています。また様々な地域で市民センターなど地域との連携を深めてきました。地域と連携することで、パトランを身近に感じたり前となる街となつてほしいと思います。また、わっしょい百万夏まつりでは「スマイル賞」を受賞し、2年連続で表彰をいただきました。参加したメンバーの笑顔が、審査員の心に響いたのだと思います。この団結力は本当に素晴らしいもので感動させられました。

### 2019年度に向けて

コロナの影響でパトランの活動が開催できずにいますが、このような状況だからこそ個人でパトランを実施し、それをお互いに共有していければと思っています。チーム活動日だけでなく、もっと多くの時間帯で行っていただくことで、安心安全のさらなる強化につながるかと考えています。また、地域活動やイベントへ参加していき、パトランを知っていただくと同時に、会員同士の結束力をより高めていければと思います。

## 博多チーム

代表 立花 祐平

チーム活動回数 **36**回  
メンバー数 **27**人

### 2018年度の取り組み

毎週火曜日と金曜日の定例パトランと月4回の子ども見守りパトランを年間を通して継続的に活動してきました。8月10日のパトランの日には、毎年恒例となった宗像警察署の協力の元、性犯罪抑止の啓蒙やパトランPRのイベントを行うことができました。参加人数が少なくなってきた中で、コアメンバーがブレないモチベーションで良くやってきたと思います。

### 2019年度に向けて

コロナウイルスの影響でスタートからつまずき先が見えない状況ですが、再開後は、今までの定例パトランと月3回の子ども見守りパトランに加え、新規のパトラン参加者を増やすために、イベントへ参加したりPR活動も行なっていくことを考えています。年配者や女性でも楽しく気軽に参加できるようにウォークも取り入れていくことも検討しています。

## 西尾チーム

代表 神谷 浩子

チーム活動回数 **19**回  
メンバー数 **66**人

### 2018年度の取り組み

- ・反射材配布/街灯切れチェック
- ・不審者情報から見回り、見守り活動
- ・市のイベント参加
- ・警察交通課コラボで交通安全週間に参加
- ・生活安全課とコラボで地域安全見守り週間参加

### 2019年度に向けて

各自が家庭の事情に応じて、無理負担なく参加でき、楽しく元気にパトランの活動を継続させていきます。

## 宗像チーム

代表 永井 敦  
2020年度就任

チーム活動回数 **119**回  
メンバー数 **40**人

### 2018年度の取り組み

毎週火曜日と金曜日の定例パトランと月4回の子ども見守りパトランを年間を通して継続的に活動してきました。8月10日のパトランの日には、毎年恒例となった宗像警察署の協力の元、性犯罪抑止の啓蒙やパトランPRのイベントを行うことができました。参加人数が少なくなってきた中で、コアメンバーがブレないモチベーションで良くやってきたと思います。

### 2019年度に向けて

コロナウイルスの影響でスタートからつまずき先が見えない状況ですが、再開後は、今までの定例パトランと月3回の子ども見守りパトランに加え、新規のパトラン参加者を増やすために、イベントへ参加したりPR活動も行なっていくことを考えています。年配者や女性でも楽しく気軽に参加できるようにウォークも取り入れていくことも検討しています。

## 古賀&福津チーム

代表 溝口 憲一

チーム活動回数 **41**回  
メンバー数 **15**人

### 2018年度の取り組み

定例パトランでは、街灯切れのチェックや行政への報告を重点的に行いませんでした。パトランのルートを駅周辺に絞り、仕事帰りや部活帰り、塾帰りの方々の防犯に力を入れてきました。放置自転車や不法投棄などの報告も数件行っています。また、メンバーが個々のパトランも並行して行い、啓蒙活動にも取り組みました。

### 2019年度に向けて

チーム設立して6年目に入ります。それぞれが仕事をしている中でのボランティアではありませんが、今後来れる時に来れる人が集まり継続して行っていくことが一番の防犯活動になると思います。8月のパトラン強化月間を盛り上げて、新しいメンバーの参加や啓蒙活動にも力を入れていきたいと思っています。

## 松戸チーム

代表 竹内 誠二

チーム活動回数 **17**回  
メンバー数 **34**人

### 2018年度の取り組み

松戸チームでは従来からの合同パトランに加え、エリア別にエリア合同パトランを開催するようになりました。「パトレポ」という枠組みをつくり活動しています。メンバーが見つけた街の危険箇所（道路陥没、街灯切れ等）をレポートしそれをリーダーが拾い上げ行政に働きかけて改善するというものです。

### 2019年度に向けて

松戸市のホームページにもパトラン松戸チーム紹介をしていただき、本年度も「パトランの原点に立ち返った地に足をつけた活動」を続けていきたいと思っています。「パトっち」にも「星屑」項目が追加されました。星屑ひろいの発祥は松戸です。毎日地道な活動を続けてまいります。

## 伊丹チーム

代表 原 勇介  
2020年度就任

チーム活動回数 **28**回  
メンバー数 **27**人

### 2018年度の取り組み

- ・清掃活動
- ・伊丹警察署と合同の定例パトラン

### 2019年度に向けて

2020年は、伊丹以外にもメンバーのいる地域芦屋、尼崎、宝塚等で、活動範囲を広げて活動していきたいです。それと一般の方や子供達が参加しやすい様にFacebookやLINEで星屑拾いなどのイベントを立てて広く知られるようにしたいと考えています。チーム内でも、個人活動の共有をしていくなど、みんなで楽しく活動していきます。

## 京都チーム

代表 鳥本 光照

チーム活動回数 **115**回  
メンバー数 **114**人

### 2018年度の取り組み

京都全体での、合同パトランの開催場所が16か所まで増え、活動エリアが広がることにも、地域と連携する活動も複数個所で活動の幅が広がっています。

### 2019年度に向けて

合同パトランやPRが難しい状況ですが、SNSやWebを有効に活用し、新たな取り組みを実施しながら、取り組みを続けていきたいです。

## 東播磨チーム

代表 西川 雅彦

チーム活動回数 **34**回  
メンバー数 **19**人

### 2018年度の取り組み

昨年はチーム結成一周年を記念したイベントを開催しました。多くの方に集っていただき救命講習や護身術講習、警察署からの講話を受けました。その時の参加者の繋がりがもあり、意欲的にパトランに参加いただけるメンバーも増え、定期的に合同パトランを実施できました。

### 2019年度に向けて

メンバー間のコミュニケーションを大事にして、昨年と同様に合同パトランを重ね、地域の防犯関係団体と連携し、街頭犯罪の抑制により一層寄与していきたいと考えています

## びわこチーム

代表 大谷 一也

チーム活動回数 **22**回  
メンバー数 **21**人

### 2018年度の取り組み

結成以降、新メンバーが増え賑やかになりましたが、色々な方が来られるため性格や価値観の不一致などから問題も起こりやすいことを痛感しました。「色々な人が来て当たり前の環境」を理解し受け入れることを共通認識として落とし込みました。他にも安全面での問題など、頻繁に集まって会議を行い、一つ一つみんなでクリアしてきました。また、熱意のあるメンバーが多く、小さいチームでありながら月間の延べ活動人数が毎月100名を超えてきています。

### 2019年度に向けて

コロナウイルスが終息するまでは、各自ソロ活動を無理なく継続し、月間100回以上を目指していきたいと思っています。ソロで活動をしていないメンバーについてはLINEやFacebookなどのSNSを活用してコミュニケーションをとり、強力なチーム力を維持させたいと思います。終息したあとは、大津市と草津市だけでなく守山市や野洲市など活動範囲を広げていきたいと思っています。またランイベントや防災イベントへも積極的に参加し、PRをしてみたいです。

## 佐賀チーム

代表 吉富 敦思

チーム活動回数 **4**回  
メンバー数 **45**人

### 2018年度の取り組み

佐賀県内高校の陸上部とのコラボパトランを開催し、若い世代への防犯意識を高められました。県警や県担当課とのタイアップもあり、多数の研修会に参加しました。また、佐賀県の健康増進アプリ「SAGATOCO」とコラボして市民説明会を開催しました。皆様に支えられながら2020年2月23日、新チームとして発足しました。

### 2019年度に向けて

高校部活動のロードワークとのコラボは続けて展開予定。県内各自治会に投げ掛け「レンタパトラン」を企画。声かけや不審者事案のあった場所へ出張しパトロールします。九州ブロック防犯ボランティアフォーラムに県代表として出演予定です。

## 山形チーム

代表 佐々木 謙介

チーム活動回数 **101**回  
メンバー数 **67**人

### 2018年度の取り組み

- ・定例合同パトランを5市(米沢市、南陽市、山形市、天童市、鶴岡市)で実施
- ・県、米沢警察署と協働し反射タスキの配布
- ・毎月15日に山形一斉パトランの実施
- ・交通安全出発式への参加(山形市、米沢市)
- ・スポーツゴミ拾い大会殿堂入り
- ・イオン米沢店・県内マラソン大会でパトランブース出展(米沢市)、やまがた市民活動まつり(山形市)、やまがた冬のFUNまつりに参加(南陽市)

### 2019年度に向けて

新型コロナ感染拡大により外出自粛が続くことが予想されます。ランニングする人が増えたこの状況を好機と捉え、日々元気に挨拶を交わしながらパトランすることで地域を明るくし、更なるパトランの浸透を図っていききたいと思っています!

## 東京チーム

代表 渡部 信隆

チーム活動回数 **30**回  
メンバー数 **56**人

### 2018年度の取り組み

- ・チーム活動は第2木曜日に台東区、第3木曜日に葛飾区、第4木曜日に新宿区の月3回を定例開催。
- ・AIを使った犯罪予測アプリのモニターとして、犯罪が起きやすい地域をパトロール
- ・警視庁主催の地域安全都民大会にメインゲストとして参加。
- ・地元メンバー主体の小金井市合同パトランと江戸川区合同パトランがスタート。地域の警察署・行政との連携関係もスタートさせた。

### 2019年度に向けて

・コロナが落ち着くまでの期間は無理をせず、できる範囲での活動を背伸びせずに推進。定例活動している台東区、新宿区で積極的なPR活動を行い、地元メンバー主体による活動にスイッチ出来るような体制づくりを行う。

- ・小金井市、江戸川区に続き、各地でPRを行い、地元メンバー主体による新しい地域を広げる
- ・東京2021の会場や選手村パトロールの礎を作り、選手が日本入りした際には安心して生活できるように警視庁・東京都との連携関係を強化する

## 糸島チーム

代表 岸田 裕介

チーム活動回数 **135**回  
メンバー数 **40**人

### 2018年度の取り組み

街の死角を少しでも減らすため、週2→週3回に活動回数を増やし、人数が倍増、およそ3倍になった月も4回あった。参加は完全自由であることを標榜しているが、結果的にそれが参加しやすい環境をつくることになり、ここ半年は参加人数が毎月延べ130人以上で推移。10月にチームに昇格し、事務局はじめ九州各地から仲間が集い糸島警察署で記念式典を行えたことにより、メンバーの自覚が芽生え最近の活発な活動につながっていることが顕著である。

### 2019年度に向けて

さらなるPR活動によりメンバーの増員を図る。旧前原市、糸島郡2町(志摩町、二丈町)が合併し糸島市が誕生した経緯があることから、将来的には3拠点(前原、志摩、二丈)を目指す。よって犯罪実数を減らし、存在感の増大を図る。1月19日に博多チームと合同でビーチクリーン活動(福岡市西区)をしたことで、地元の海にも関心が出てきた。糸島のビーチクリーンをしている団体とも連携し今年も活動の契機としていきたい。

## 久留米チーム

代表 牟田 雄一郎

チーム活動回数 **40**回  
メンバー数 **30**人

### 2018年度の取り組み

2019年5月、岩田屋上SORAIRO広場イベントでパトランPR、2019年7月、久留米市役所にて青色合同パトロール、2020年2月に、久留米パトラン結成式を開催しました。

### 2019年度に向けて

第一水曜日、第三金曜日20時から西鉄久留米駅からJR久留米駅へ、第一第三月曜日18時30分から宮の陣パトランを実施。パトランの理念に沿って「みんなで楽しく気軽に続けよう」をモットーに久留米らしく継続して活動していきます。

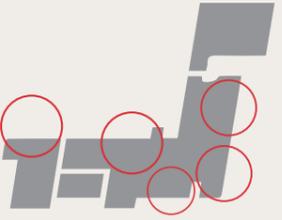
# チーム活動エリアにおける犯罪件数の推移

パトランチームがあり、定期的に活動を行なっているエリアでの  
刑法犯認知件数の推移です。

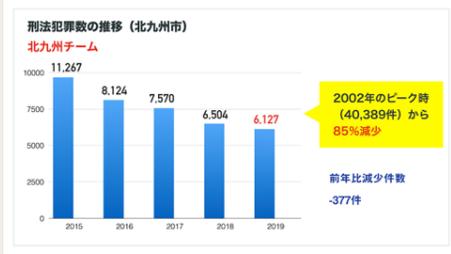
## 2019年都道府県別刑法犯認知件数

1 東京	104,664件 (-8.6%)	5 千葉	41,793件 (-10.5%)
2 大阪	84,672件 (-11.4%)	6 神奈川	41,780件 (-10.7%)
3 埼玉	55,497件 (-9.3%)	7 兵庫	40,395件 (-8.7%)
4 愛知	49,956件 (-7.5%)	8 福岡	34,520件 (-5.9%)

( ) 前年との比較

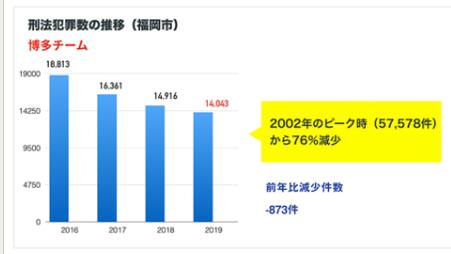


### 北九州市



2019年認知件数  
**6,127** 件  
前年比減少件数  
**-377** 件

### 福岡市



2019年認知件数  
**14,043** 件  
前年比減少件数  
**-873** 件

## KYUSU

### 宗像市



2019年認知件数  
**319** 件  
前年比減少件数  
**-79** 件

### 糸島市



2019年認知件数  
**407** 件  
前年比減少件数  
**-77** 件

### 福津市



2019年認知件数  
**313** 件  
前年比減少件数  
**+7** 件

### 久留米市



2019年認知件数  
**1,998** 件  
前年比減少件数  
**+117** 件

### 佐賀県



2019年認知件数  
**3,402** 件  
前年比減少件数  
**-179** 件

### 兵庫県



2019年認知件数  
**40,395** 件  
前年比減少件数  
**-3,838** 件

## KANSAI

### 京都府



2019年認知件数  
**15,136** 件  
前年比減少件数  
**-1,685** 件

### 滋賀県



2019年認知件数  
**6,771** 件  
前年比減少件数  
**-1,196** 件

## CHUBU



2019年認知件数  
**953** 件  
前年比減少件数  
**+98** 件



2019年認知件数  
**11,155** 件  
前年比減少件数  
**-191** 件

## KANTO



2019年認知件数  
**104,664** 件  
前年比減少件数  
**-9,828** 件



2019年認知件数  
**3,411** 件  
前年比減少件数  
**-322** 件

## TOHOKU



2019年認知件数  
**3,275** 件  
前年比減少件数  
**-339** 件

## 2019年度都道府県別活動人数ベスト10

2019年度(4/1~3/31)における活動人数上位10の都道府県です。パトっちで集計した活動人数にチーム活動人数を加えたのべ人数です。

福岡	6,936人	愛知	2,774人	東京	1,054人
山形	4,567人	京都	1,800人	滋賀	948人
千葉	2,902人	宮城	1,221人	佐賀	902人
		栃木	1,166人		

## 東京での警察・行政との協働事例(台東区と葛飾区での定例パトロール)

毎月第二木曜日に、警視庁上野警察署、浅草警察署、蔵前警察署、下谷警察署、台東区行政と合同で台東区定例パトランを行っています。台東区では生活安全課の方々に拘らず、様々な部署の方々にご参加頂いています。また葛飾区でも亀有警察署、葛飾警察署との連携により毎月第3木曜日に定例パトラン&星屑拾いを実施しています。



# PATORUN AWARD 2020

パトランによる活動成果が顕著だったメンバーを表彰する制度をリニューアルし新たに「パトランアワード」をスタートしました。2019年度の活動を対象に以下の3つの部門にて表彰を行いました。



パトランを実施中に発見した活動成果の数に応じて表彰

- 成瀬 訓美子 (3)  
佐々木 謙介 (2) 家門 寿徳 (2)  
小野村 守宏 (2) 立岩 義典 (2)  
白沢 雄司 (2) 内田 郁文 (2)  
原田 直樹 (2)  
北川 進太郎 萩原 竜治  
古居 英隆 今中 明弘  
杭田 幸太郎 吉富 敦思  
野村 彰宏 光永 稔  
石田 卓也 渡部 信隆  
山内 悠輔 塚越 章彦

( ) 表彰回数



活動回数と活動時間のそれぞれ上位3人を表彰

- 回数部門  
NO.1 山本 一人  
NO.2 中村 健治  
NO.3 佐々木 謙介
- 時間部門  
NO.1 山本 一人  
NO.2 水村 和香  
NO.3 菅原 靖男



各チームから1人を選出し表彰

- 宗像チーム 奥和 久  
●古賀福津チーム 小嶋 政寛  
●キタキューチーム 村田 義光  
●博多チーム 溝口 啓子  
●松戸チーム 高橋 一正  
●西尾チーム 都築 弘恵  
●伊丹チーム 今中 明弘  
●京都チーム 西村 博  
●山形チーム 小野 智信  
●東播磨チーム 高林 正尚  
●東京チーム 山内 悠輔  
●びわこチーム 杭田 幸太郎  
●糸島チーム 清水 一寛  
●佐賀チーム 緒方 香砂美  
●久留米チーム 中島 靖博

## 認定パトランナー Certification Patorunner

認定パトランナーはパトランJAPAN公認のパトランナーです。一定の基準をクリアすることで認定されます。2019年度は、新たに25人の認定パトランナーが誕生しました。

 橋本 裕介さん / 京都	 大塚 淳一さん / 長崎	 塩澤 睦美さん / 栃木	 小野村 守宏さん / 東京	 鈴木 宏樹さん / 千葉
 武田 正児さん / 鹿児島	 高橋 一正さん / 千葉	 秋山 興仁さん / 宮城	 番場 英知さん / 千葉	 溝口 啓子さん / 福岡
 鈴木 まゆ子さん / 岩手	 箕島 勝さん / 神奈川	 西川 雅彦さん / 兵庫	 中捨 隆弘さん / 三重	 原田 直樹さん / 埼玉
 杭田 幸太郎さん / 滋賀	 谷川 勇太さん / 京都	 牟田 雄一郎さん / 福岡	 錦 新吾さん / 山形	 塚越 章彦さん / 群馬
 小室 拓也さん / 宮城	 水村 和香さん / 千葉	 出口 晋也さん / 神奈川	 平野 康夫さん / 滋賀	 大谷 一也さん / 滋賀

### 認定推移

認定パトランナーの制度を始めた2016年度以降認定パトランナーの数は年々増えています。



### エリア別認定パトランナー数

認定パトランナー一覧はこちら →

千葉 18	東京 3	青森 1
愛知 8	滋賀 3	岩手 1
福岡 6	宮城 3	群馬 1
栃木 5	神奈川 3	三重 1
京都 5	山形 2	茨城 1
兵庫 4	埼玉 2	奈良 1
		佐賀 1
		長崎 1
		熊本 1
		鹿児島 1
		中国 1



### 3年連続受賞者

成瀬 訓美子さん

／愛知県瀬戸市

パトランする地域、ルートはその日の気分で決めていきます。ルートを変えることは犯罪の抑制に繋がると考えています。いつもと違う角を曲がり、消灯を見つけることもよくあります。消灯電灯の交換に要する時間、防犯灯の数、防犯意識は地域によって大きな差があります。地域住民が声を上げなければ改善できないことも多く、歯がゆさを感じることもあります。できる限り地域防犯のお手伝いをしたいと考えています。



1

## 認定NPO法人取得!

パトランの運営母体である「NPO法人改革プロジェクト」は、3月19日に認定NPO法人として認証されました。認定NPO法人格の取得により、今後、団体への寄付は寄付金控除の対象となります。

### 寄附に伴う税制上の優遇措置について

寄付したお金の最大約50%が戻ってきます。

#### 認定NPO法人とは

認定NPO法人とは、一定の基準を満たしたNPO法人を指します。厳しい基準があることから、認定を受けた法人数は全NPO法人の2%未満となっています。



2

## 活動集計ツール「パトっち」を導入

全国各地でのパトランによる取り組みを可視化するために独自の集計ツール「パトっち」を開発しました。パトっちの導入よりこれまで暗数となっていた活動による件数やパトロール時間数を可視化することが可能となりました。



3

## 大阪マラソン2019開催

大阪マラソン2019のチャリティ寄付先団体として選定されました。パトランから総勢30人がチャリティランナーとして出走いただきました。2020年11月30日開催予定の大阪マラソン2020でもチャリティ寄付先団体として選ばれています。



## 2019年度のメディア実績

### テレビ

J:COM (4/8) 東京  
NHK (4/9) 北九州  
鹿児島テレビ (4/17) 鹿児島  
RKB今日感テレビ (5/28) JAPAN  
TBSあさチャン (5月) JAPAN  
J:COM (7月) 東京  
J:COM (8/19) 北九州  
NHKあさいち (9/9) 宗像  
地元テレビ (9/21) 山形  
KBCシタカ (9/25)  
地元テレビ (11/6) 山形  
地元テレビ (12月) 山形  
佐賀テレビ (2/23) 佐賀  
ケーブルテレビ (3/5) 西尾

### 新聞

南日本新聞 (6/4) 鹿児島  
山形新聞 (6/22) 山形  
佐賀新聞 (7/3) 佐賀  
加古川新聞 (7/24) 東播磨  
神戸新聞 (9/20) 東播磨  
山形新聞 (9/22) 山形  
読売新聞 (9/22) びわこ  
西日本新聞 (10/17) 糸島  
三河新報 (11月) 西尾  
愛三時報 (11月) 西尾  
佐賀新聞 (11/7) 佐賀  
山形経済新聞 (12/22) 山形  
西日本新聞 (12/22) 北九州  
産経新聞 (1/10) JAPAN

### その他メディア

●WEBメディア  
ダイヤモンド・オンライン (5/17) JAPAN  
東京都メディア (12/1) 東京  
まいぶれ (2/24) 京都  
COCOすこい (3/10) 伊丹  
●フリーペーパー  
中央労働防止協会 (4月) 東京  
おるね (5月) 古賀福津  
リビング福岡 (8月) JAPAN  
広報糸島 (11月) 糸島  
自治体広報紙 (1月) 加西  
●ラジオ  
京都ローカルラジオ



4/6

## 東京チームキックオフ

東京都東京チームがスタートしました。

## スポーツ共創ワークブックに掲載

スポーツ庁が制作するスポーツ共創ワークブックでパトランが紹介されました。



NEW!



## 活動エリアが38都道府県に!

開催エリアに秋田県が加わり、全国でのパトラン展開エリアが38都道府県となりました。

## パトラン強化月間

開催4年目となる2019年は、「8月だよ!海だ!山だ!パトランだー!」をスローガンに過去最多人数の更新を目標に活動を行いました。

9/8

## びわこチームキックオフ

滋賀県びわこチームがスタートしました。



10/13

## 糸島チームキックオフ

福岡県糸島チームがスタートしました。



## 大阪マラソン開催

12月1日に大阪マラソンが開催されました。大会には全国各地からパトランメンバーが集いました。

2/23

## 久留米チームキックオフ 佐賀チームキックオフ

2つのチームが同時にキックオフしたのは初めてです。佐賀と久留米は共に協力し合いながら、チームスタートに向けて準備を重ねてきました。



4月



5月



6月



7月



8月

毎年8月はパトラン強化月間として活動を強化しています。8月10日をパトランの日と制定し全国で一斉に活動しています。

<災害>佐賀県豪雨

9月

パトっち導入

<災害>房総半島台風

10月

2017年より大阪マラソンのチャリティ寄付先団体に選定いただいており、パトラン全体で大会を盛り上げています。

11月

12月



1月

2月

3月



# パトラン対談



パトラン山形チーム代表  
佐々木恵さん・謙介さん

パトラン京都チーム副代表  
パトランアンバサダー  
内田郁文さん

## 佐々木謙介さん・恵さん × 内田郁文さん × 事務局（時安・高堂）

時安 皆さん、まずは「パトランを知ったきっかけ」を教えてください。

内田 伊丹チームの山蘭さんがきっかけですね。うちの京都チームの鳥本君と山蘭さんが知り合いでした。僕がコミュニティを作る勉強をしていた頃に、鳥本君と石田君と勉強会の関係で福井に行きました。その道中で鳥本君から「パトランニング」と言うのがある話を聞いて「何それ面白そうやん」とはじめてのがきっかけです。ちょうどその頃、走り始めて1年目で、何かもう少し走る動機が欲しいなと思って「走って地域貢献できるなら一番いいやん」とすぐ食いつきましたね。

時安 パトランって走りはじめの人にはとっかかり易いんですね。内田 ですね。走っていたら色々発見する事が多いです。普段、車で通らない所でお店見つけたりして、色々面白くて今にいたるって感じですよ。

佐々木 2015年の8月だったから5年前かな。それまでずっと自転車をやってきて、全日本選手権まで出場して、その時に身体に違和感がでて自転車を離れました。「何か運動しなきゃな」と走りはじめた頃に、山形で最初にパトランをはじめた天童市の高橋さんがパトランをSNSで紹介して、「これってすごく良い活動だな」と感じました。

時安 恵さん本当に走れるようになりましたもんね、すごいです。恵 フルマソン完走して自信がきました！

内田 自分の中で変わったことは「怒らなくなった」「急がなくなった」この2つですね。例えば信号待ち守らなくていいと渡っていく人を見てもイラツとしなくなりました。自分自身そんな気持ちもなくなりました。なぜかはわかりませんが、パトラン効果ですね。

佐々木 すごくわかる。パトランをはじめて花を撮るようになった。パトランは色々見渡しながら気づいて、つい写真に納めてしまう、発見が多いです。

時安 今後のチーム展開において何が重要だと思いますか？

内田 次世代のリーダーをどうやって作るかだと思います。タイムिंगもあると思うので、しかるべき時が来たら、背中を押してあげるのが良いのかなと。鳥本君、石田君はまだ若いので大丈夫ですけど、僕はこう見えてもおっさんなんです。笑 京都もある程度広がってきて、形も出来上がってきているので次の世代に引き継いでいきたいです。今、縁があって、拠点づくりに関わらせてもらっているので、場所を借りて授業的な感じでパトランを発信できたらいいなと。別の区

「走る事が何か、誰かの役に立つなら」と思っ、すぐ入会申請しましたね。

時安 高橋さんはパトランの初期からのメンバーさんですね。恵さんのきっかけは？

佐々木(恵) 私は自転車のレースにいつも行って行ってきました。今度はマソン大会にもよく出るようになったので、そこにも行って行っている。マソン大会の会場にパトランのぼり旗を持って行き、「俺が走っている時にのぼり旗を持っていてくれ」と言われて。笑

内田 僕はパトランが「居場所」だと思っと思っています。パトランやっているとオンラインでもオフラインでも色々な人と繋がれます。パトランは防犯だけ「居場所づくり」としての役割が大きいと思います。

時安 これから防犯はじめるようになると敷居が高いですが、走るっていう所の魅力がありますよね。

域ですけど、公共施設の方とのご縁をきっかけに大学で授業を組んでもらっています。もう少し広まって、企業さんにも中に入ってもらえたらさらに良い感じになるのではと考えています。

あと、僕はサラリーマンですけど、サラリーマンって地域活動に入りづらいんです。仕事で定時に集まらない事も多く急に行けなくなってしまうかと思ったり。せつなく地域に関わりたいたいと思っ、でもできなかつたり。でもパトランは僕らみたいなサラリーマンでも自分のペースでできる、地域づくりに関わっていきけるって所を見せたいですね。



内田 立花さんが資料に書いてたりする「体幹治安」ってキーワードもすごくパワーがありますよね。「僕らは体幹治安を高める活動です」と話すと、聞いている皆、すつと入っていきくれます。「防犯活動って危くない？」どんな事やるの？」って身構える人が多いですけど、体幹治安の話すると「活動をやる事で体幹治安がある事にながるのね」「同じユニフォーム着て走るだけで抑止力になるなら良いよね」と言ってもらえます。

佐々木 自分が変わった事は、自転車やっていた頃は自分が中心でした。スポーツ選手ってそうじゃないですか、自分の成績や結果がすべてという考え方で、それがだんだんと自分中心から、活動を広げたいという気持ちに変わっていききました。活動に興味を持って参加してくれた人、初めて来てくれた人が、輪に入って笑顔になってるのを見ると本当に嬉しくなります。最初の頃は自分がパトランしてなればだと思っっていました。今は自分がいなくてもやってくれる仲間ができたのが嬉しいです。

恵 山形チームは、アスリートもいて、逆に私みたいな走れない人がパトランをはじめて走れるようになったり、ちようどいいチームバランスになっている気がします。

佐々木 もっと関わる人が増えるようにしたいと思っっています。自分が自転車からパトランをするようになったように、多くのランナーさんにパトランをして欲しい。山形チームはランニングチームのメンバーが母体になっている訳ではなく、居場所がない人が集まったチーム。居場所のある人もパトランに来て参加してもらいたいです。これは個人的な捉え方になるかもしれないですが、地域の人を安心安全にしたのがパトランの目的、それとは別にランナーさんを救っていききたいと考えています。ランナーさんを既存のマソン大会から解放してあげたい。パトランを一回やってみると感じる事ですけど普通のマソン大会に出場する事だけでなく、人と関われる楽しい事がパトランにはあるという事、ランナーさんがパトランを通して地域に目を向ける機会を作りたいと思っっています。

恵 私はとりあえず走る事は続けていきたいですね。毎週の合同パトランにも必ず参加できるように頑張っしていきたいです。そして自分のパトラン活動を伝えて広めていく、一緒に走ってくれる女性メンバーも増やしていきたいですね。また会社で、運動不足の男性社員さんにも参加してもらえたらなと思っ、今後の展開も楽しみます。

## ご支援いただいた皆さま



### パトランサポーター

年間サポーターとして活動を支援いただきました。

田嶋 秀臣さん/沢崎 裕司さん/始澤 萬來女さん/笹野 雄二郎さん  
吉村 政和さん/大河原 宏樹さん/沼尾 崇さん/福田 善和さん  
大沼 元継さん/小笠原 俊道さん/柴田 直彦さん/吉富 敦思さん  
香取 宏明さん/石本 聖次さん/大和田 栄子さん/千葉 英晃さん

### 大阪マラソンチャリティランナー

大阪マラソンチャリティランナーとして出走いただきました。

石野 洋一さん/犬塚 一彦さん/安藤 政秀さん/橋本 裕介さん/香取 宏明さん  
安部 芳英さん/栗谷 泰輔さん/内田 郁文さん/鳥本 光照さん/永井 敦さん  
池田 栄子さん/島脇 一宏さん/山中 雅美さん/岡田 章さん/久保山 裕昭さん  
谷川 勇太さん/清水 美穂さん/吉富 敦思さん/黒川 真一さん/林 賢幸さん  
中村 正喜さん/吉田 新治さん/山崎 康成さん/古村 綾子さん/西川 雅彦さん  
田嶋 裕子さん/伊藤 優さん/佐々木 謙介さん/牟田 雄一郎さん/栗原 咲子さん

### 寄付支援

寄付付きTシャツ・ジャンパーの購入でご支援いただきました。

石渡 栄一郎さん/濱 浩一さん/大川 綾絵さん/氏家 紘也さん/石迫 龍司さん  
石黒 力也さん/松井 峰夫さん/相澤 淳一さん/水田 修二さん/石原 巧さん  
峰 祐希さん/神田 雄一郎さん/田邊 建樹さん/波多江 美和さん/高野 真さん  
植木 大介さん/中野 実佐緒さん/大森 卓也さん/古川 知広さん/青木 康純さん  
熊田 由夫さん/畑中 貴子さん/塚越 章彦さん/榎 悠也さん/久米 康子さん  
相澤 亮さん/清川 秀文さん/高橋 佑慈さん/富樫 正巳さん/成瀬 訓美子さん  
福石 堅太郎さん/柳田 文徳さん/山下 晴人さん/平畑 克敏さん/田畠 俊彦さん  
橋本 一陽さん/千葉 英晃さん/佐々木 竜郎さん/間瀬 奈緒美さん/大塚 穂さん  
関根 光弘さん/伊藤 秀典さん/大沼 元継さん/上村 昌子さん/大道 行雄さん  
北島 佑佳さん/高木 みおさん/下津 昭洋さん/吉井 平八郎さん/奥川 知彦さん  
麻生 博徳さん/吉村 政和さん/柳田 文徳さん/大井川 広志さん

## パトランJAPAN事務局より挨拶

## 2019年度のお礼とご報告

2019年度も日本全国での活動ありがとうございました。令和となり新しい1年を迎えた2019年度はパトランの活動成果を可視化することを主の課題とし、パトランJAPAN事務局を運営してきました。年が明けてからは、見えない新たな敵との戦いが始まりましたが、そんな時だからこそパトランを必要とする人たちが多くいると思います。新たな局面を迎える2020年度、みなさんと力を合わせて乗り切っていきたいと考えています。



立花 祐平



時安 里江



高堂 大輔



吉田 真二



松田 愛子

NEW

4月から事務局メンバーとなりました、栗原咲子です



栗原 咲子

「走ることが地域の役に立つ」ことに強く共感し、2年前、福岡県久留米市でパトランナーとして活動したことが始まりです。パトランの魅力は仲間と一緒に地域貢献ができる喜びを味わえることにあります。一人でも多くの人と喜び分かち合えるよう、全国のパトランナーが笑顔で活躍できるよう、縁の下の力持ちで頑張ります。

## 2019年度をふり返って

### パトランによる活動成果を社会に示すために

2019年度の刑法犯の認知件数は戦後最少を記録しました。2002年をピークにずっと右肩下がりが続いています。その要因として、自治会やPTAなど市民による防犯ボランティアの存在があげられます。その数は認知件数の減少に比例して増え続け、2016年には272万人となりました。これは警察官の約10倍の人数です。

こうして、日本では市民主体で地域を見守る目を作り続けてきましたが、人口減少や高齢化など時代の変化を受けその担い手は減少しています。市民による防犯活動は成熟から衰退期へと突入したと言えます。では、それら市民主体の防犯活動がどれくらいの頻度で行われていて、犯罪減少にどの程度役立っているか。実はそれを正確に把握する術はありません。市民主体の防犯活動は、活動状況を可視化することが得意ではないのです。というより、そこまで求められていなかったというほうが正しいのかもしれませんが、成果が見えないと自己満足の活動の範囲を超えることができません。だからこそ、目に見える形で、パトランによる活動成果を社会に示していくことが重要だと捉えています。

これまで全国のパトランメンバーがどこでどのくらい活動しているかというデータを正確に抽出することができずにいました。データとして把握していたのは、Facebookグループ上で報告してくれるメンバーの活動とチームによる活動のみ。半数以上のメンバーの活動状況を把握する術がなかったことにもどかしさを感じていました。パトランが全国でどのくらい活動しているかを示すことは、これからのパトランにとって必要不可欠でした。それを可視化するために開発したのがパトラン集計ツール「パトっち」です。

パトランJAPAN  
代表 立花 祐平



福田 善和さん/栃木県

減量の為になればとすすめられて始めたパトランですが、パトランを始めてからは様々な人との出会いがありました。全国各地に出向き、多彩なパトランナーの皆さんとの交流はとても刺激的です。「団体を応援するために寄付を募って走る」チャリティランナーを務めたのも良い経験となり、自分自身の糧となりました。現在は、近所の小学校やダム周辺の見守りパトランを日々のメイン活動にしています。大好きなパトランの良さを発信し、「安心して暮らせる地域づくり」に貢献できるよう、微力ではありますが引き続き頑張ります。